母校の活気を目と肌で！

昭和56年度校友総会

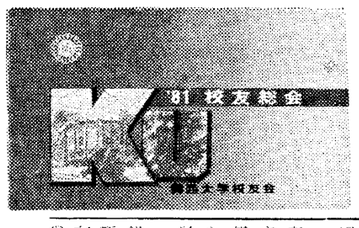
10月18日 千里山キャンパスへ

十月十八日の日曜日、校友総会が迫ってきた。校友の皆さん、前売券（三千円）を入手されたでしょうか。

今年の総会券の表紙は、KUの文字のなかに懐かしい母校のたたずまいを素描したものです。各組織の代表者に一括、持ち帰っていただき、現在までの一応の配付枚数は千八百枚。

ゼミOB会などで校友会に未登録の組織の方や、既成の各支部に所属されていない校友は、早急に校友会事務局（〒564吹田市山手町三の三。関西大学会館内。電話〇六一三八八一一一二一番。午後五時～九時は〇六五五九四番）まで、直接、お申し込みください。

五年後の母校百年祭には〝校友一万人の結集〟を念願しており、今年は、その準備年とするためにも、例年の倍増、校友二千人以上の参加をはかりたいものです。



これが今年の総会券だ

十六年度の校友総会が迫ってきた。校友の皆さん、前売券（三千円）を入手されたでしょうか。

今年の総会券の表紙は、KUの文字のなかに懐かしい母校のたたずまいを素描したものです。各組織の代表者に一括、持ち帰っていただき、現在までの一応の配付枚数は千八百枚。

ゼミOB会などで校友会に未登録の組織の方や、既成の各支部に所属されていない校友は、早急に校友会事務局（〒564吹田市山手町三の三。関西大学会館内。電話〇六一三八八一一一二一番。午後五時～九時は〇六五五九四番）まで、直接、お申し込みください。

五年後の母校百年祭には〝校友一万人の結集〟を念願しており、今年は、その準備年とするためにも、例年の倍増、校友二千人以上の参加をはかりたいものです。

宣言を満場一致採択

全国組織代表者会議

九月五日、関西大学会館で開催された全国組織代表者会議には百三十五団体、百八十四人の代表者が参加、次の宣言を採択した。

宣　言

われわれは、本日ここに全国組織代表者会議を開催し、五年後に迎える関西大学創立百周年に備え、「百周年記念事業計画と募金活動考える」とのテーマで協議した。

母校関西大学の限りない発展のため、本日の協議を生かして全国校友の総力を結集し、その成果の実現に取り組むことを宣言する。

昭和五十六年九月五日
関西大学校友会
全国組織代表者会議

初の学内見学総会で愛校心を新たにせん

校友会　会長　樫本　信雄

往年一度、校友会総会をみて、懐かしい教室での、ひとときの懇親など繰りたくさんな、かつ斬新な行事の最後の詰めをしています。

特に今回は校友会としては、任期満了による代議員の改選という重要な課題をもっており、大学当局もこれに応じ、懇談会の確保を申し入れた。同会は今西ゼミ、愛弟子の松谷勲教授（30学一商・35院博経）ゼミ、議券研究会の合同OBの集い。今西生次郎名誉教授が来学されるとあっての結集だ。

植田重正名誉教授も、ご出席の予定。ところが出席者の中、義勝元学長（21大法）は岡山県下での刑法学会の分科会の司会者。おわびの電話を植田先生にかけ、後事を先輩の岩本一郎教授（15大法）に懇願されたという。

岩本先生は「私のゼミ総会は九月二十三日終わり、OB生に声はかけにくいが、法学部の名誉教授は植田、和田豊二、川上敏雄の三先生。せめても私が出て、お世話申しあげねば……」と。

鑄方貞亮名誉教授を恩師と仰ぐ経済学部・津川正寿教授（36学一経・28院修経）も、当日は後輩の結婚仲人。福永利一・千成会幹事長（28学一商）の「鑄方先生も、現本学部顧問名誉教授も、応援団の顧問だった方。私どもでお迎えしましょう」の申し出に、ほっと、ひと安心されたとか。

校友と留学生の交歓教室も設置

ことしも総会に留学生を招待する。事務部現当の芦田定男・校友会副会長を中心に、昼食時、「交歓教室」ができる。昨春から留学生「里親」制度の準備に、賛同された温かい申し出を寄せられてきた校友諸氏の参加が熱望される。

留学生は中国、パキスタンから各一人の大学生を含め七十人。学部生六十八人（うち女子学生二十六人）の国籍別内訳は、台湾五十八（十八）、韓国七（六）、中国三（二）、マレーシア、タイ、インドネシア、インド、無国籍各一となっている。他に中国からの委託大学院生が三人。

ゼミOB会など新組織も参加へ

八月二十七日開催された、校友会初の、ゼミOB会等の代表者との懇談会も、新しい校友集団が、校友総会へ初参加するきっかけになりそうだ。

懇談会にはゼミOB会等から二十八団体の代表者四十二人が出席。三、四十代の校友が多かった。それぞれに多種、多様な規約があり、直ちに校友総会にでてもらうには、多くの〝壁〟があるようだった。しかし、「できるだけ会員にはかってみよう。今年はダメでも来年度には必ず……」の発言が、わずかに望みだった。

その後経済学部・寺谷基明教授（31学一経・36院博経）のゼミOB会「寺友会」が、校友総会への参加に踏み切った。同会は今年二月発足した〝若い組織〟だ。

十月十八日十二時三十分、寺谷教授研究室にゼミOB生、全員集合！　総会後、午後四時からOBコンパを準備している。

幹組は寺谷事務局の福井方へ。午後八時以降、電話〇七八一222一〇九五八番まで。

「チェリークラブ」の連絡網ができるのも一つの前進であろう。会長の法学部・桜田寿教授（18大法）が語られ、懇談の校友と懇談される。同会は桜田教授のゼミ卒業生、同教授が世話されてきた剣道、航空、フェンシング各部OB、さらに雄弁会、千里山法律学会のゆかりの校友の集い。五十四年夏の発足で、会員二千人を超える。

「九年ぶりで〝母校の庭〟の校友総会。何とか力になりたいが、早急なことで態勢を整えにくい。私が連絡役に話することで、一人でも多くの校友が参加されれば……」と。

桜田先生は語る。

結集に一歩ずつ

日、一日と盛りあがり、大結集がはかられそうな〝キャンパス校友総会〟への動き、あれこれを拾いあげてみよう！

名誉教授迎える謝恩の心配りが

名誉教授をお迎えする謝恩の心配りが、各方面で練られている。「謝恩会」では岡田誠一・幹事（34学一商）らが、呼びかけに専心している。すでに三十人の参加が決まり、懇談会の確保を申し入れた。同会は今西ゼミ、愛弟子の松谷勲教授（30学一商・35院博経）ゼミ、議券研究会の合同OBの集い。今西生次郎名誉教授が来学されるとあっての結集だ。

植田重正名誉教授も、ご出席の予定。ところが出席者の中、義勝元学長（21大法）は岡山県下での刑法学会の分科会の司会者。おわびの電話を植田先生にかけ、後事を先輩の岩本一郎教授（15大法）に懇願されたという。

岩本先生は「私のゼミ総会は九月二十三日終わり、OB生に声はかけにくいが、法学部の名誉教授は植田、和田豊二、川上敏雄の三先生。せめても私が出て、お世話申しあげねば……」と。

鑄方貞亮名誉教授を恩師と仰ぐ経済学部・津川正寿教授（36学一経・28院修経）も、当日は後輩の結婚仲人。福永利一・千成会幹事長（28学一商）の「鑄方先生も、現本学部顧問名誉教授も、応援団の顧問だった方。私どもでお迎えしましょう」の申し出に、ほっと、ひと安心されたとか。

校友と留学生の交歓教室も設置

ことしも総会に留学生を招待する。事務部現当の芦田定男・校友会副会長を中心に、昼食時、「交歓教室」ができる。昨春から留学生「里親」制度の準備に、賛同された温かい申し出を寄せられてきた校友諸氏の参加が熱望される。

留学生は中国、パキスタンから各一人の大学生を含め七十人。学部生六十八人（うち女子学生二十六人）の国籍別内訳は、台湾五十八（十八）、韓国七（六）、中国三（二）、マレーシア、タイ、インドネシア、インド、無国籍各一となっている。他に中国からの委託大学院生が三人。

ゼミOB会など新組織も参加へ

八月二十七日開催された、校友会初の、ゼミOB会等の代表者との懇談会も、新しい校友集団が、校友総会へ初参加するきっかけになりそうだ。

懇談会にはゼミOB会等から二十八団体の代表者四十二人が出席。三、四十代の校友が多かった。それぞれに多種、多様な規約があり、直ちに校友総会にでてもらうには、多くの〝壁〟があるようだった。しかし、「できるだけ会員にはかってみよう。今年はダメでも来年度には必ず……」の発言が、わずかに望みだった。

その後経済学部・寺谷基明教授（31学一経・36院博経）のゼミOB会「寺友会」が、校友総会への参加に踏み切った。同会は今年二月発足した〝若い組織〟だ。

十月十八日十二時三十分、寺谷教授研究室にゼミOB生、全員集合！　総会後、午後四時からOBコンパを準備している。

幹組は寺谷事務局の福井方へ。午後八時以降、電話〇七八一222一〇九五八番まで。

「チェリークラブ」の連絡網ができるのも一つの前進であろう。会長の法学部・桜田寿教授（18大法）が語られ、懇談の校友と懇談される。同会は桜田教授のゼミ卒業生、同教授が世話されてきた剣道、航空、フェンシング各部OB、さらに雄弁会、千里山法律学会のゆかりの校友の集い。五十四年夏の発足で、会員二千人を超える。

「九年ぶりで〝母校の庭〟の校友総会。何とか力になりたいが、早急なことで態勢を整えにくい。私が連絡役に話することで、一人でも多くの校友が参加されれば……」と。

桜田先生は語る。

名誉教授迎える謝恩の心配りが

名誉教授をお迎えする謝恩の心配りが、各方面で練られている。「謝恩会」では岡田誠一・幹事（34学一商）らが、呼びかけに専心している。すでに三十人の参加が決まり、懇談会の確保を申し入れた。同会は今西ゼミ、愛弟子の松谷勲教授（30学一商・35院博経）ゼミ、議券研究会の合同OBの集い。今西生次郎名誉教授が来学されるとあっての結集だ。

植田重正名誉教授も、ご出席の予定。ところが出席者の中、義勝元学長（21大法）は岡山県下での刑法学会の分科会の司会者。おわびの電話を植田先生にかけ、後事を先輩の岩本一郎教授（15大法）に懇願されたという。

岩本先生は「私のゼミ総会は九月二十三日終わり、OB生に声はかけにくいが、法学部の名誉教授は植田、和田豊二、川上敏雄の三先生。せめても私が出て、お世話申しあげねば……」と。

鑄方貞亮名誉教授を恩師と仰ぐ経済学部・津川正寿教授（36学一経・28院修経）も、当日は後輩の結婚仲人。福永利一・千成会幹事長（28学一商）の「鑄方先生も、現本学部顧問名誉教授も、応援団の顧問だった方。私どもでお迎えしましょう」の申し出に、ほっと、ひと安心されたとか。

校友と留学生の交歓教室も設置

ことしも総会に留学生を招待する。事務部現当の芦田定男・校友会副会長を中心に、昼食時、「交歓教室」ができる。昨春から留学生「里親」制度の準備に、賛同された温かい申し出を寄せられてきた校友諸氏の参加が熱望される。

留学生は中国、パキスタンから各一人の大学生を含め七十人。学部生六十八人（うち女子学生二十六人）の国籍別内訳は、台湾五十八（十八）、韓国七（六）、中国三（二）、マレーシア、タイ、インドネシア、インド、無国籍各一となっている。他に中国からの委託大学院生が三人。

ゼミOB会など新組織も参加へ

八月二十七日開催された、校友会初の、ゼミOB会等の代表者との懇談会も、新しい校友集団が、校友総会へ初参加するきっかけになりそうだ。

懇談会にはゼミOB会等から二十八団体の代表者四十二人が出席。三、四十代の校友が多かった。それぞれに多種、多様な規約があり、直ちに校友総会にでてもらうには、多くの〝壁〟があるようだった。しかし、「できるだけ会員にはかってみよう。今年はダメでも来年度には必ず……」の発言が、わずかに望みだった。

その後経済学部・寺谷基明教授（31学一経・36院博経）のゼミOB会「寺友会」が、校友総会への参加に踏み切った。同会は今年二月発足した〝若い組織〟だ。

十月十八日十二時三十分、寺谷教授研究室にゼミOB生、全員集合！　総会後、午後四時からOBコンパを準備している。

幹組は寺谷事務局の福井方へ。午後八時以降、電話〇七八一222一〇九五八番まで。

「チェリークラブ」の連絡網ができるのも一つの前進であろう。会長の法学部・桜田寿教授（18大法）が語られ、懇談の校友と懇談される。同会は桜田教授のゼミ卒業生、同教授が世話されてきた剣道、航空、フェンシング各部OB、さらに雄弁会、千里山法律学会のゆかりの校友の集い。五十四年夏の発足で、会員二千人を超える。

「九年ぶりで〝母校の庭〟の校友総会。何とか力になりたいが、早急なことで態勢を整えにくい。私が連絡役に話することで、一人でも多くの校友が参加されれば……」と。

桜田先生は語る。

千里山キャンパスに校友諸氏迎える喜び

関西大学　学長　大西　昭男

千里山キャンパスに校友の皆さんをお迎えすることは、私たち教・職員にとってこのうえない喜びです。何年ぶり、あるいは何十年ぶりに母校をごらんになる方々もおられることでしょう。

往年の紫四グラウンドも今候は、秋の装いが近づいてきました。関大創立九十五周年の今年は、九年ぶりに〝母校の庭〟へ回帰しての総会でございました。

貴重な校舎の風光を満喫し、今校の創設の感慨を深めた感懐の深

関大人世界を駆け巡る

昨今ほど多くの海外レポートが寄せられた年はない。学術調査があれば、ご夫妻の感傷旅行も。さらにヒマラヤの秘境・チベットや、赤道直下・アフリカのマサイ族の村の探訪なども。ユニバシアード参加の伊義教教授の「ブカレスト通信」、世界注目の「ポーランド」をめぐる長妙実教授の回顧と分析も貴重なものである。世界をかける関大人の声の中に、われらの、やっと芽生えてきた〝国際人感覚〟を、垣間見るのも意義があろう。

東南アジア・再発見の旅に

元新聞社特派員が愛妻と

シンガポールの植物園で芦田さん夫妻

大阪国際空港の集合場所はいくつの団体客で、ごった返していた。海外旅行熱が相当なものだと承知はしていたが、八月とあってより〝高熱〟だったのかもしれない。「東南アジア・ツアーの安いのがあれば……」と頼んでおいた同窓の先輩Kさん。旅行専門家だけに「これ、いきなはれ」と早速紹介していただいたのが、この〝超経済〟団体旅行。おかげで自分だけのつもりが、夫婦二人で行くことができた。はずかしながら結婚以来三十四年、夫婦で海外旅行はこれが初めて——

清純な娘達の中 白髪夫婦が2組

自田茶や経営者、それに会社の出張でという人を別にすれば、勤め人で、ちょっと海外へ観光にという男は決して多くはない、と思っていたが、この推測は、私たちの団体の顔ぶれをみて、「やっぱり」と確認できた。

団体といっても、ツアーのためだけに、旅行社が参加者を集めた便宜的なものだから、塔乗機の離陸二時間前に、空港の集合場所で初めて顔を合わせた一行である。

総員四十人。なんと、そのほとんどが若い女性たち。男といえば、フェッション関係の会社員で、研修名目で便乗〝出張〟という青年二人のほかに、私たち白髪頭の夫婦つれ二組。女子大生グループといっても、誰も変わりないような構成だ。

とにかく、三十代から五十代の定年前のサラリーマンは一人もいなかった。ということは、観光ツアーの主勢力は、おなじ勤め先で責任をもつ、働きざかりの男たちではなくて、職場では、いてもいなくても別に支障はない？　ようなOLや、その子孫の学生たちといえそうだ。

大学を出れば学徒殺、アジアの北へ南へ輸送され、生きるか死ぬかの戦場に青春を賭けねばならなかった私たち。その伴侶の妻たちも、学校から軍需工場に動員され、モンペ姿でミシンかけや旋盤工の仕事に汗を流した戦中派だけに、「おのの国に比べれば、なんと自由で結構な時代になったことよ」と驚かひとしきり。

脂ぎった男たちの悪臭漂い〝貴族的光〟とは違って、まことに若々しい清純そのものの娘たちと二組の旅は、私たちにとっても嬉しいものだった。

32年ぶり夕映えのマラッカ海峡

大阪から台湾へ、飛行機で乗り継いで、マレー半島の西、ペナン島の空港についた夕刻には、陽はマラッカ海峡に沈みかけていた。展長もゆるやかな機内でゆっくりとされ、酒類と無料サービスのキャセイ航空だったので、豪華なワインでご機嫌だった。帰国予定していた私は、香港空港から、待ち時間中に電話でホテルの予約をすませておいた。

昭和二十四年十二月、ビルマへ新聞社から特派され、冬取りに行く青川丸に便乗して往復したマラッカ海峡から、島を眺めた記憶はあるが、ペナン島を訪れたのは今度が初めてだった。一行とのバスツアーなどに参加せず、妻と二人で、ホテルの近くの村落を訪れたり、街のレストランで、土地の人と話しながら安くておいしい料理を食べ歩いたり、自由に行動できたのが私には幸いだった。

夕焼雲かと思うほど赤い花も、このあたりでは一月頃に咲いていたことを思い起こして、ネムの大木ではないかと確かめてみたり、椰子の葉類を妻に説明したり、脚の黄色い、ひょうきんな鳥や、〝福建〟という名のレストランの飼い犬とも仲よしになった二日間。潮騒（しおさい）、島の話しかけるようなささやき、南の花々——私たちには、ペナンの自然と静かさが、もっとも、ふさわしい訪問先だったようだ。

シンガポールで見た女の駆引き

若い一行の女性たちは、街に出ると目をみはるほど活発だった。飛行機の中では、つつましく構えていた彼女らと、シンガポールでは一緒に旅行社が案内する土産物屋を回った。ショッピングとなると彼女たちは、力強い積極性をムキ出しにする。さすがは商都・大阪の子。「高いじゃないの」と値切りの子。シンガポール弗の値段を円に換算しながら、日本語で押しまくる。18金のネックレスを前に、彼女の眼光は22金の輝きだった。

それにしても、現地の女店員らも日本語で、見事な応酬ぶりだ。どれほど必死に日本語習得に努力が取り組んでいるかがうかがえる。日本の学校では、とても、こう実践に役立つ外国語教育の成果は、現状の三年では望めないのでは……。

極東一の大空港でもつシンガポールは、十六回目の独立記念日を祝っていた。インドネシアから土産を運べさえの、海の埋め立てもの進行中だった。

ハワイ大学から学位

「海洋工学」で遠藤校友

アメリカ東西文化センターの奨学金を受けてハワイ州立大学の大学院へ。途中、教授の助手に採用されるという幸運もあって、学ぶこと六年、「海洋工学」で博士号をさげた校友がいる。同大学から博士号を授与された日本人はこれで三人目。おめでとう今年は一人。

遠藤秀一氏（工学機II・47院修）で、修士を終わって三年間は、病気の父に代わって家業に専心。五年前に、この道学金制度に応募した。日本で約三千人のうち三十四人が選抜され、最後のハワイ大学の試験に合格、大学院修士課程に入学できたのは四人だけだった。マレーシア、フィリピン、ベトナム、インドネシア等、アジア諸国の学生が相手。入学したという。

一年間の修士課程が終わった頃、「助手」の席があいた。採用士号を獲得した。今年はアメリカ人を含め四十人。一緒に勉学した他の二人は修士課程を帰国している。

ここでの「助手」は、学生の資格があっての身分なので、奨学金とともに失格。ヒザも〝研究生用〟のものなので帰国した。

日本人としてただ一人、ハワイ州立大学から博士号を受ける遠藤君

ハワイ大は学部、大学院の学生数は約二万人。日本からも毎年四人くらい学部に入学するが、進学についていけず、ほとんどが途中退学。厳しさは学生だけでない。専任講師、助教授、教授も二年契約。よほど学問的業績がないかぎり〝永久教授〟にはなれない。

私は、古い友人夫妻との再会で、最近離婚したと聞き、気の重い香港一年年歳歳花相似、年年歳歳人不同！　私はふと、入院中の妻を東京に残して香港勤務についた頃の歌を、とさそれに口ずさんでいた。

「ケセラーセラーなるようになるー」

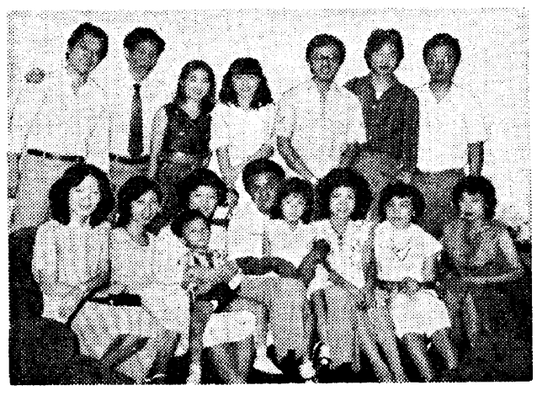
（芦田定男・法人評議員。元毎日新聞論説副主幹。若き記者時代は香港、バンコクなどの支局長など東南アジアへの特派員）

25年で人口三倍 神経疲れる香港

香港—私が新聞社の支局長として住んでいた二十五年前より、人口は三倍近くも膨れあがっていた。大都市化した街に神経が疲れた。家内は、街でトイレ事情構えていてチップの小銭がいるのに面食らい、空港では扇子（スリ）に危うく盗まれそうになって、イライラしていたが、これらは昔と変わっていない香港だった。

帰国留学生を訪ねて…

台湾支部を創立します、



帰国留学生に囲まれた稲置主任（前列中央）

大学の夏期休業を利用して、帰国留学生（台湾校友）を励ますための旅をした。

ところで台北市では、逆に歓迎会を開いてくれた。盛綱の手りである。集まったのは林子欽（りんしきん）、許正宗（きょ・まさむね）の三校友に、夏木小姐（かきのしたの文学部英文学科四年次の唐知華（とう・ようか）さん、商学部四年次の馬湧文（ま・こうぶん）君、一年次の張志成（ちょう・しせい）君、経済学部二年次の簡資修（かん・きょうしゅう）さん、王雪惠（わん・ひーふい）さんの五人の現役留学生だった。

林君（53学一商・広田ゼミ）は日本三共電器㈱（冷凍車台湾総代理）千倍産業有限会社の経理に、廖君（54学二商・山本ゼミ）は貿易会社に、そして許君（55学一経・高木ゼミ）は、家業の宝石商を手伝い、みんな元気だった。

なかでも一流光一家の林君が、「いよいよ来春は、台湾同窓による校友会台湾支部を創立します」という話には力強く感じた。関大に在学中、日本で生まれた林君の長女・美鶴ちゃん（全）、許君の長男・巻守君（同）の成長ぶりにもびっくりした。台湾からの留学生は、兵役をすませてから出国になるので、ほとんどが少尉殿であり、妻帯者である。

コンパには同席していなかったが、帰省中の商学部四年次の黄南元（こう・なんえん）、三年次の許世鑫（きょ・せいけん）の両君とも、台北で会った。樟園で行われた商学部二年次の簡銘月（かん・めいげつ）さんとも、一年次の孫令男（そん・れいゆう）君（その婚約式にも招かれ出席した。大変楽しい列席されていた。

シンガポールに飛んで、廣勝友（しょ・かつとも）君に夫妻にも会ってきた。蘭君（55学一商・東海林ゼミ）は、昨年六月三日、台湾で結婚した。当日、招待を受けながら私の不注意（パスポートの期限切れ）で、出席できなかった。今回は、そのおわびの訪問。同君は海運についての実務勉強に、昨年十月から奥さんとともに、シンガポールにきているという。勤務先はシンガポール日本通運㈱だ。（大学学務課国際交流室・髙橋一主任・34学一法）

大陸の大きさ痛感

八年ぶりのアメリカ紀行

シカゴとアメリカ西海岸を視察する調査のため同行し、ロスの空港に着いて、まず、フリーウエーの交通網を、百キロ以上のスピードで走っているのを目に焼付けた。

メイド・イン・ジャパンも、今は昔に…

ロサンゼルスをベースに、合計四時間程、朝一番の飛行機でシカゴへ。最終便で最多強行スケジュールのことだった。ロスに着き日に、ニュータウンのモール街店舗数軒並みに訪れ、商品を見て回った。アメリカでの〝足〟といえば車を指すが、私たちはタクシー、バス、そして我が二本の足を使っての行動だった。

青色の雑貨品には、メイド・イン・コリアン、タイワン、フィリピンがあった。ひところ外国へ行って、メイド・イン・ジャパンの品物を買い漁ったのも、今は昔のことになってしまった。

店舗の内装などは目立たなく、さほどの変わりはないが、何かアカ抜けしているようだ。店舗の数に比べて、レストランが少ない。いや、大都は多過ぎるのかもしれない。

ニューヨークの日本料理店は将軍ブーム

ロスでの一週間の後、一人でニューヨークを訪れた。深夜の二時ごろ空港に着いたとき、少しあっかがったが、バスでマンハッタンへ。そしてタクシーでホテルに直行した。午前四時、空港という。古いが、たいへん立派な部屋だった。

常宿時代、アラスカ新聞社のあった、アルバイトをした日本料理屋へあいさつに行く。八年も前のことなのに、社長さん以外は見知らぬ顔ばかりだが、歓迎され、ご馳走になった。例の〝将軍ブーム〟とかで、各日本料理店とも繁盛しているということだった。

河村　長人さん

校友の〝米人若妻〟は剣道が取り持つ縁

漂流、生死を分ける人の大事件に遭遇、生死を分ける人の大事件に遭遇した。河村長人（50学二経・山岳部OB）

三時までレストランで働き、自宅に戻って一眠り。夕方から剣道や合気道を教えたり、習ったりの生活。当地では剣道、柔道、空手、合気道などの日本武道が盛んで、各道場とも満員だという。日本では次第にかしなかった彼も、渡米後に日本古来のスポーツを見直したらしい。

剣道が出会いとか。エレンさんは陶芸も手がけられて、その作品は見事なものだ。いずれ発表会を行いたいとのこと。夫君の影響か、日本の魅力を感じていた。

超一流演劇も10～20弗で見られる愉しさ

大里さんに案内されて、劇場の座席を許してもらい、舞台から離れて見ていた。現在、アメリカ全土、どこへ行っても〝I LOVE NEW YORK LAX CHICAGO〟の看板ターが目立つ。ラブのどこかは、ハート型矢が刺している図案になっている。

この劇は以前と違い、たいへん美しくなっていた。名物の地下鉄の落書きも見つけられると嬉しくなるとかで、全然ラクガキのない車両も！　かつて定知る私にとっては、かえって少し寂しい気も！しないではなかった。しかし、ピストルを持った強盗が、改札口に立っているのは、これまで通りだが、不良落書が幅ばったいなどは少なくなっている。また、セントラルパークに柵があって、以前みたいにどこからでも入ることができなくなっていた。

昼食時に WORLD TRADE CENTER 前でジャズの演奏が行われ、たくさんの聴衆が昼休みのひと時を楽しんでいた。BROAD WAYの映画館ではスーパーマンII、RAIDER LOST OF ART 007 など深夜のショーも盛況。OF BROAD WAYでアル・パシーノの上演する劇があり、出かけてみたが、週間先まで満席。残念ながら見れなかった。ちょうどヨーコ・オノ女史が、前日に出展へあいさつに行く。八年も前のことなので、社長さん以外は見知らぬ顔ばかりだが、歓迎され、ご馳走になった。例の〝将軍ブーム〟とかで、各日本料理店とも繁盛しているということだった。

バスに揺られ五日間 英語学びつつ大陸横断

ニューヨークからはグレイハンドのバスを使ってアメリカ横断を試みた。学生時代、関部を走ったので、今回は中部を通ってみた。

ニューヨーク、ワシントン、アトランタ、セントルイス、デンバー、ラスベガス経由でロサンゼルスという行程。ホテルに泊ったのはデンバーの一夜だけ、あとはすべてバスの中。街の観光もラスベガスだけで他は通過。しかし、長いバスの中での会話は、生きた英語を肌で学ぶのに役立った。

バスは約三時間おきに〝ティーブレイク〟があり、朝・昼・夜の食事時には約一時間の休憩が各ターミナルである。ターミナルにはバス会社専属のガードマンが、ピストルをさげてパトロールしており、時間ごとにチェックを行い、フロアに寝ている者も起こされていた。ターミナルにはレストラン、自動販売機、土産物屋があり、いちいち街に出かけなくても用が足りた。

結局五日間を費やして横断し、あらためて米大陸の大きさを痛感した。

（河村　長人　50学二経　山岳部OB）

会で連帯を

ゴルフと総

三年目の二九于里会

昭和二十九年生部二部卒業の二九于里会は八月二十一日、茨木高原カントリークラブで「桜田春敦撰杯争奪」ゴルフコンペを開く。十六人が参加し、村田力氏（29学一法）が優勝した。

翌二十二日は大阪の郵政会館に同窓四十余人が集い総会。横田健一・文学部教授を迎え、学生時代の思い出話に花が咲いた。

当会は発足三年目にして会報も発刊でき、この間、お互いの結束を強め、七十人近い「連絡不能者」の消息が判明している。ゆかりの方は、水野富誠・代表幹事（29学一商）＝〒581八尾市北木の本四の四八。電話〇七二九—22—〇八六四＝まで一報ください。

その他の役員（今回の改選では会計担当）は次の通り。

◇総務幹事　高橋一夫（法）◇会計幹事　横山義昭（経）◇幹事　桜田敏男▽大森弘子（以上法）▽玄野彌▽上坪淑子▽水島幸子（以上経）▽金田明治▽豊田敏男▽太田弘一（以上文）▽大西武▽竹田純治▽徳山喜昭（以上経）

校友バンドで知床旅情

伊丹支部総会

伊丹支部は去月十三日、小西酒造㈱の白雪ホールに会員四十三人が集まって定期総会を開いた。

伊丹市観光課の門脇一郎氏から、大阪国際空港周辺の村落を中心とした「伊丹の今昔物語」を聴いたあと、懇親会へ。

江藤治巳氏（31学一法）がリーダーの〝校友バンド〟の生演奏にのって学園歌はもとより、尾崎淳夫支部長（14学一商）の「知床旅情」まで飛び出す。和やかな雰囲気。

なお当日、支部幹事に長年活躍された田原孝氏（27学一法）に感謝状を贈り、今後とも願いす。

毎年8月に総会実施を

熊本県支部総会

熊本県支部（森井計夫支部長）の総会は八月二日、熊本市内で開き、夏休み帰省中の現役学生二人を含む二十人が参加した。＝写真。

全員の申し合わせで、支部総会は毎年八月に開く。教育懇談会が実施される年には、その時期に併せる。最終的には支部長（一任）などが決まった。暑夏のタベ、大いに語り、飲み、肝胆相照らし、母校共にする連帯感を深めた。

（森藤猛＝16大法＝記）

五十五年度幹事会選で「連絡不能者」の校友の所在が判明。▽浜村好信（臨17大予2・㈱アトリエ・ドウ代表取締役）▽堀川仁雄（18大予2・熊本県庁副出納長）

三氏に花束

贈り華やか

大阪・旭支部総会

大阪・旭支部の総会は大森俊次支部会員（30学二法）が勤五等瑞光光光章を、寺西武雄支部長（24大法）が監査綬章、地方自治功労章を受けた祝賀を兼ね、八月二十九日の夕、大阪キタの新北京で開かれた。

集う校友は四十五人。安橋良雄発起人代表（27学一法）から賀び の言葉と、お祝いの言葉と、花束を贈った。当支部総会に毎回出席の樫本信雄校友会長（34大法）に

花束を手にする旭支部の右から樫本、寺西、大森の三氏

も〝金寿のお祝い〟の花束を。

総会議長、祝賀懇親は東浦朱一副支部長（29学一商）の司会ですすめられ、今後は毎年、総会を開こうと誓い合った。

大正10年卒も今春組も

大分県支部総会

大分県支部では八月二十二日、大分市セントラルホテルに、二百人、一馬先輩（大10理商）から三国重義君（56学一経）までの三十四人の校友が集まり、第二十九回総会を開いた。＝写真。

役員改選で渡辺順四郎支部長（14大商）を再選した。今回は職域の安田生命大分支社の初参加があった。徳重忠男支社長（38学一法）、池田信治次長（41学一商）、森田正二郎支部長（42学一新）と、まさに〝三役独占〟と、当地の関大人の盛況は盛んなり。

支部長以外の新役員次の通り。

◇副支部長　藤野幸男（20学一経）▽菊川徳則（31学一商）▽岡本義康（33学一商）▽常盤幸男（34学一法）▽西村良雄（35大法）▽西村良雄（三大商）▽小野義男（33学一商）▽池田義誠（41学一商）

10月定例評議員会

後援会大人・関西大会を去る十月十九日に開かれ、時政連事務局長、二宮会長会。十二日には秋の一時から定例評議員会を開催する。

東井教授の還暦の祝宴

二部フェシング部OB会

二部体育会・フェシング部OB会は、顧問の経済学部・東井正美教授が九月に還暦を迎えるので七月三十一日、大阪キタのミューヘン北大使館で還暦の宴を設けた。現役部員を含め二十余人が集まり、松橋貞一会長（27学一商）から、サーブル二本ほかのお祝い品を贈った。

同部OB会をあわせて行い、新会長に松井正一氏（30学一商）を選出した。

東井ゼミOB会結成へ…

東井ゼミOB会結成のための名簿作成がすすめられている。ゆかりの方は住所を連絡ください。

連絡先　〒564吹田市山手町二丁目関西大学経済学部東井正美教授宛付　神田朝利あて。

新支部長に石丸武穂氏

北九州支部総会

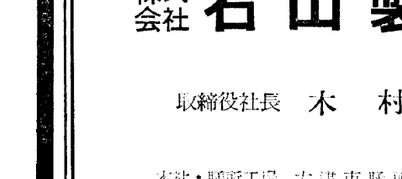
北九州支部は七月十八日の夕、小倉北区の雅加茶公倉店で総会を開いた。中沢俊雄・博多都ホテル社長（17大法）と、校友会福岡支部の須田益三男（17大法）、吉野一郎（36学一商）の両幹事をゲストに招き、総勢二十余人。＝写真。

「ヨーロッパ文明は、ダイヤの上に生活しての一時的な資相。日本は貧困の上に、今ちょっとはなやいでいるにすぎない。日本人よ驕るなかれ！」との中沢先輩の話に一同感銘した。

任期満了による役員改選では、井本淑支部長（11専一商）が相談役となり、新支部長に石丸武穂氏（18大法）を選出した。

その他の新役員は次の通り。

◇副支部長　高梨大（18大法）▽吉本清（19大法）◇幹事長　高橋昇（32学一新）◇幹事　渡辺智俊（31学一経）▽東條康義（32学一法）▽小野義男（33学一経）▽西興亜蔵（37学一史）▽瀬戸義良（37学一商）▽藤條祐昭（31学一経）▽湖田信芳（35学一経）▽宮本順天（32学一経）▽湖田信芳（35学一経）



事務局　〒805北九州市八幡東区西本町一の七の二〇。自宅電話三氏（30学一経）方。電話〇九三—661—二二四〇番。現区在住の校友のご一報を！

飛鳥の古墳探訪

10月25日に誘之会

大阪城下・誘校教職員の「誘之会」は十月二十五日の日曜、奈良飛鳥地方の古墳探訪を実施する。

午前十時三十分に近鉄橿原駅に集合。岩屋山古墳・塚穴子（かんごし）塚古墳・益子（かんご）塚古墳・益田岩船・小谷古墳を経て午後四時ごろ解散。

一般校友の参加も歓迎。問合せは誘之会事務局の奈良朝一方（55学一商・校友部議員）。

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大信興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角地下鉄四ツ橋駅中央出口）
電話　大阪〇六（二三二）七四三二～七四三五

脂肪太りが気になる方
特に肥満体質の方に最適
冷やして飲んでも最高です。
＊中華・和・洋食等どんな料理にも合い、赤ちゃんからお年寄までおいしくお飲みいただけます。
話題の喫茶減量法
美容健康茶
特選箱新発売！
中国直輸入
中國皇茶　楊貴妃
●ティーバック20袋入　850円
●特選箱50g　2,000円
●特選箱100g　3,500円
●特選箱150g　5,000円
●特選マイルド300g入　3,000円
60年間の先・後輩集う大分支部
●お求めは、各百貨店・デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパーでどうぞ。
●試供品をお送りします。葉書または、ハガキでお申込みください。
お申込みは……中国直輸入総発売元　株式会社タムラ　試供品請求係K
大阪市北区堂島2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101㈹

化学機械・工学設計の粋を誇る
貴社の工場或は装置の新設改造には先づ弊社の技術スタッフを御利用下さい
キムラ式 化学装置 設計・製作・工事
本社工場　尼崎市坂部字上馬1番地1　電話 大阪（488）2501（代表）
大阪本部　大阪市北区梅田2—1—24　電話 大阪（345）6261（代表）
東京支店　東京都中央区銀座4丁目10—4（明治海計ビル）　電話 東京（541）2191（代表）
木村化工機 株式会社
取締役社長　小林　敦
常務取締役　木村雅光（昭和30年商学部卒）

化合繊機械装置及び公害機器の設計施工
株式会社 石山製作所
取締役社長　木村雅光
本社・脇所工場　大津市脇所1丁目12番25号　〒520 電話（0775）代表 ㉒6665
関東工場　滋賀県栗太郡栗東町大字大橋388—1　電話（07755）代表 ②0851
出張所　平塚・岡崎

鉛管・鉛板・卸商
不動産管理
木村不動産 株式会社
取締役社長　木村雅光
大阪市北区西天満2—6—8堂ビル3F
電話（06）364—0988（代表）

制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業 株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本社　〒660尼崎市坂部北町1丁目3番地　電話大阪（481）8807～0番（代表）・（489）3041番
東京営業所　〒176東京都豊島区早宮2丁目26番25号　電話 東京（932）6266～7番

学究に 親善に この夏

何を教えたか！ ブカレスト大会

ユニバーシアード

健全な精神は、健全な身体に宿る。これが開会式で披露したファンファーレ操りの壮大な絵文字だった。古代からの人間の願望をラテン語で表した名句だ。これが誇り高きラテン系民族と自負するルーマニア人が選んだユニバーシアード・ブカレスト大会のアピールだった。五千人を超える大学生の祭典が世界各国より集まり、学生オリンピックは七月十九日から三十日の間開催された。大会のメイン・ポスターは「本」の表紙が大会旗をかたどり久遠の空に棚引く構図。大会のあるべき姿を象徴する新しい傾向である。

中国学生の活躍とモスクワの後遺症

今回、特に目立ったことは開発途上国の青年の眼に輝きがみなぎっていたこと、"大国"中国チームの清潔溌剌とした行動だった。特に中国は各競技において大活躍をみせ注目的となった。燃える青年は美しいものである。

さて残念であったことは、昨年のモスクワ五輪ボイコット事件の効果。東側諸国の人びとは、「日本や米国が参加しない分だけ、われわれに金メダルのチャンスが増えた」ぐらいの認識しか表面的には表現しないこと。

どの大会も同じだが大会の主題はいつも世界平和の実現と共通理解の涵養。今回もその通りだが、だから値打ちがある。

世界平和達成は確かに成就困難な目標である。しかし、一度放棄したらそれで終わりである。アフガニスタンを蹂躙(じゅうりん)したソ連の同盟国が、どうせ掲げたエマリ文句と決めつけたら身も蓋(ふた)もない。彼等も当たり障りのない平統な用語法で、暗に暴挙を非難しているのだ。

チャスラフスカは今や道路工事婦？

ソ連のチェコスロバキア侵攻に抗議した「二千語宣言」。その署名をいまだに撤回しないチャスラフスカは、その故にいまや道路工事婦へ格下げを命じられ、甘受しているというウワサが、彼女を代弁者に仕立てあげている。それは私的な憶らいで「良識派」が指摘する一つである。だが、民衆はあからさまにソ連・キライを表わす。

ブカレストに集まった人たちは何を見たであろうか！

対ソ連の態度において、特定の親ソ連側数国を除く社会主義国がでてきたときは、観覧は一致して反ソ連の応援をする。それはさまざまいばかりだ。時に西側の国がソ連を下しても大変な歓声があがる。「赤信号みなで渡れば怖くない」の図式である。その辺の身体感覚は、日本人には計り知れない研ぎ澄まされている。平和実現の営みは表立った論議の展開では容易に結実しないが、人間の情に触れるところで素地は根強く育っている。「大会」は、こうした舞台の一助を大きく果たす。

芽生える共通理解 人間らしさの評価

一方、共通理解は時間の経過なしに芽生える。人の集まるところの道理であろう。奇数・偶数ナンバー別の車に隣日隔日ごと、運転禁止規制をルーマニア政府は義務づけている。これはいいことだと話題にするのが、大学生のオリンピックらしいところ。共通理解は、こうした会合から徐々に生まれる。近頃、人間らしい行動が見直し評価を受けるのは女学の世界だけではない。華やかなスポーツは公明正大であるべきだが、人間のすること「人間らしい」ことは切り捨てにできない。奇抜にクラッイでも、十点満点のコンネチ・デシション。そこには深い意味があるのだ。陸上の一万メートル決勝で、一周余計に走る結果となった競技役員の手違い。そしる声もあったが、その結着は一万四百メートルとして、正式に記録に残すことでチョン。国際感覚とはこうしたものである。ここにも日本人のついていけない世界がある。

宗教の戒律で酒を飲むことのできない男に、お前は話のわからぬヤツだ、こ口ぐらいいいだろうと無理強いするのは決して寛容でもない。種々の人間が集まる場には、こうしたことも起こる。こうした事象に出会うことで、人を間知ることができるのである。このようにメダル獲得競争以外に「大会」の意味が拡大する。これが昨今のスポーツの真価である。

（文学部体育教室　伴鍵孝教授・38学一商）

伴教授はブカレスト大会の国際審判員（レスリング）だった。

秘境の空で米・ソ 人工衛星をみる

苗村校友父子チベットへ

ヘミス・ゴンパでヘッド・ラマと会見する苗村父子

足に靴擦れがまわるまで深呼吸して、第一歩を踏み出した。高山病になるからだと。苗村七郎（18大経）、元（48工機Ⅱ）校友父子は、秘境・チベットのラダック地方を探訪した。

昼は三八度、夜は零下二度のヒマラヤ山塊の海抜四千㍍のフォツ・ラ峠をジープで三日間もかかって、チベット入りした。

一九六〇年の中印紛争で、ダライラマが亡命したところ。ここにはラマ教の真髄が残っている。遊牧民族の人情はこまやか。しかも女性が頭にたらしている「ペラック」という布には、トルコ石や山珊瑚がちりばめてあった。民謡のリズムを聞いていると、なぜか"般若心経"。そういえば、民族衣装は、日本の僧侶の装束と同じだ。ヘミス・ゴンパで十四代のヘッド・ラマに会う。親愛の情を表す、白絹の「カタ」をかけてくれた。

インダス川の源流で、寝袋でねた。空には満天の星。翌日、案内のインド人青年が、「昨夜は楽・ソの"人工衛星"が見えたでしょう」と言われ驚く。この青年はデーリ大学卒業という。いま印度には大学が六百校。貧富の差は相変わらず大きいが、上流階層での知識欲は旺盛だということだった。

故仁保学長の頌徳碑 生誕の伊賀町に建つ

地元・新堂老人クの手で

故仁保亀松学長

仁保亀松博士（一八六八―一九四三）は、三重県阿山郡伊賀町新堂の生まれ。京大法学部長のあと、昭和三年、関西大学第八代目学長。十二年退任されるまで特に本学教学の後継者の育成に力を入れられた方。昭和四年に大学院を開設され、現・名誉教授の和田豊二先生は、大学院で仁保博士の「法理学」講座を最初に受講されている。

退任後は郷土の教育振興につくされ、十八年九月二十六日、七十六歳。伊賀町では五十四年に「名誉町民」の称号を贈った。

頌徳碑建立は、伊賀町の新堂老人クラブの人たち古十人が十余年前に発案（発起人・藤井芳雄氏ら）し、建設資金を積み立ててきた。碑はアフリカ産の矢山石で、横一・五㍍、縦一㍍、厚さ十五㌢。右上に博士の肖像をはめ込み、碑一面に「正三位勲二等、法学博士、仁保亀松先生」の業績を刻んである。

除幕式は九月十四日、博士のめいで養女のいちをさん（㌘）と博士のひ孫にあたる学一ちゃん（㌘）、地元に住む親族代表の西（かね）治己氏（㌘）の三人が出席した。

法人関西大学は三十万円を贈り、また矢倉敬作、寒川喜一、羽瀬博、千原清治、本下忠夫、安井章吾、神屋敷民蔵ら多数校友諸氏も、寄付をされている。

遺族、親族の手で行われた故仁保博士の頌徳碑の除幕式

「変貌する社会主義」

長砂博士（商学部長）が感銘の講演

ポーランドに世界の目が注がれている―かつて共産圏各地で社外研究された商学部長の長砂実博士は「変貌する社会主義―ソ連・ユーゴスラビア・そしてポーランド」の演題で、七月十二日と十七日には、名古屋、静岡の教育懇談会場で学生の父母に、九月九日には、第二十八回経済人クラブで、校友多数に学理と体験に基づいた感銘深い講演をされた。世界情勢は流動的であり、講演後に入った情報を加味すると、分析が少しはニュアンスをちがえる場合もあろうが、あえて編集部の文責において、三つの講演の内容を「ポーランド問題」にしぼってまとめ、本紙読者の校友のため掲載させていただこう。

講演する長砂先生（教育懇談会場で）

社会主義の報道は必ずしも豊富でなく、正確でもない。社会主義経済論の専門家の一人として、ポーランドの昨年夏からの問題をどう見るか。それがソ連型社会主義や、それと対照的なユーゴスラビア型社会主義に、どのようにかかわり合ってくるか、を堅苦しい講演でなく話題として提供しよう。

私は関西大学の五十二年度の在外研究員として、ソ連、ユーゴに滞在。帰途、ポーランドにも立ち寄り、アウシュビッツなども訪れた。ワルシャワの"民宿"でおばさんの言葉のはしばしから、同国民が、当時から社会主義の現実を、かなり厳しく見つめていたことを思い出す。

ポーランドは民族、独立を願い、第二次大戦後、ソ連軍の占領下で独立の夢を果たした。しかし、最初からソ連の言いなりにならない傾向が顕著だった。その代表の一人ゴムルカは早くも、一九四八年には追放、事実上軟禁された。その後は、ソ連の言いなりになる指導者で社会主義の建設が進められた。

ポーランドで

一九五六年、ソ連第二十回党大会でスターリン批判が行われ、ブダペストでハンガリー事件が起きた年、ポズナニ騒動が発生し、ゴムルカが"民族的英雄"として復活した。自主的な旗度で実情にあった社会主義を―といった「ゴムルカ神話」が約十年ぐらい通用した。第二次大戦後、ソ連の直接支配下で社会主義の建設が進められた。しかし、ソ連のはめたワクは強く、ゴムルカ自身も、また当初の新鮮さを次第に失う。七〇年には食糧の大幅値上げを一方的に発表、抗議のストライキを暴力的に鎮圧し失脚した。

この騒動の主役だったグェリックは、野心的な高度成長政策を採り入れ、一時はハンガリー事件後のカダールのような役割を果たすものと期待された。しかし、七十六年にはゴムルカと同じような失政をし、昨年八月以来の労働者の大規模、長期にわたる反抗にあって退陣した。

信仰心が厚い

代って登場したカニアは、何人かの首相の首をすげ替えて、今日のカニアーヤルゼルスキ体制を固めた。他の社会主義国と比べ非常に政策が激しい。まさに「変貌する社会主義」だ。他に例を求めるならば中国ぐらいのものであろう。

ポーランドが以前から、他の社会主義国とは違った特徴をもっていたことに注目すべきだろう。

作曲家・ショパン（一八一〇～四九）に代表されるような文化的先進性を誇り、ロシア人を田舎者扱いにする。ソ連に対して表面はともかく、心の底では屈服しないという感情を強く持続してきた。

社会主義の農業といえば、国営農場と共同組合農場が一般の理解であるが、ここでは圧倒的に"個人農"である。他に例をとればユーゴだけ。

統一労働者党という事実上の共産党が支配政党であり、憲法にも指導政党と明記してある。しかし、ソ連、ユーゴなどと違って他に統一農民党、民主党という、それぞれ数十万人の党員を擁する政党がある。もっとも、統一労働者党とはパートナの関係で、政権を争わない特殊な複数政党制。また統一労働者党は"統一"の名の通り、共産主義者、社会民主主義者、社会主義者という、かなり考え方の異った人たちが包括されている。

カトリックの強い国でもある。ショパンの心臓を柱にうめこんである教会もある。長間から若い世代の人たちが、たくさんひざまづいている。現在のローマ法王は、ポーランドの出身である。信教の自由が、他の社会主義国に比べ大きいないが、企業の自主性を高め、その意味での「自主管理」を進めるという。しかし、連帯側のそれとは大きなへだたりがある。結果としてソ連とユーゴの真ん中をいくことになるのではなかろうか。

ソ連型社会主義国で、企業の自主性の拡大ということが、近年、現実に行われている。問題はその程度、機構である。ソ連の場合、経営人に対して、労働者大会を含めた常設生産者会議がいろんな注文をつけるが結局は独断まり。経営の意思決定は、国家から、一方的に任命された企業長が行う。ユーゴの場合には自主管理社会主義といわれるぐらい「自主管理」が看板だ。労働者たちが労働者評議会に自分たちの代表を送り込み、そこで労働者協議会という経営専門の機関を構成する。ここによって選び、罷免にあたらせる。形の上では、ほとんど資本主義企業とかわらない。

ポーランドではどうなるだろうか。党や政府の主張には二通りのワクが厳然とあるわけだし、他方、連帯側の人たちはユーゴ型に走る。両者間の詰めには相当な時間が必要であろう。

政治の面では、連帯側の主張は統一労働者党を打倒して、とってかわろうというのではない。大衆を信頼し、同党が名実ともに憲法に明記してあるような党に新規まき直してくれ、"オドノバー"という言葉で言い現す"改革要求"というのが、現状であろう。

社会、労働問題としてみると、連帯は独立自治労組といわれる。党と政府から独立し、労働組合自身の民主的運営を目指すという。一時の無責任な要求一本槍から、いかに政党でない大衆団体として振る舞うか考え出してきた。日本にも来たワレサ議長は連帯穏健派の動きもこの方向である。社会主義国の労働組合が党や政府の出先機関として、労働者の尻をたたいてきた従来の姿に、多くの問題を投げかけたといえよう。

最後に文化の面だが、グダニスクの労働者の要求の中に、検閲、報道、自主出版の自由など労働組合としては、政治的、社会的要求というものが、かなりのウエイトをしめている。他の社会主義諸国より相当自由化が進んでいたにもかかわらず、なお不十分だというのだろう。

国際的な波紋

最後にポーランド事件の国際的な側面についてふれておこう。

ポーランドの事態が、今までの社会主義国にない、新しい要素を、多く生み出している。現存の社会主義諸国には、かなり教訓的であろう。

ソ連の軍事干渉は、結果的には未だ行われていない。タイミングをねらっての軍事演習とか、統一労働党の中の、明らかに分派と思われるような対ソ連一辺倒の部分を高く持ち上げたりしている。国際世論が、その最終的な暴走を阻止する役割をはたしている。

ユーゴでは自主管理の社会主義を標榜しながらも、連帯の一部にユーゴの後を追うような動きがあっても、応援も干渉もせず、自国の方式を押しつけない姿勢はまことに賢明だといえよう。

湯の山温泉で一泊総会

源流山彦会

源流山彦会は七月十八、十九の両日、三重県湯の山温泉で一泊総会を開いた。鎌倉から参加の木下満雄君ら七人の同窓が、商学部の西井文雄教授を囲んで、懐古談に、子弟の家庭教育など、昭和一ケタ各わりの年代共通の課題に話がはずんだ。

西井ゼミ会員のOB会名は「山彦会」。この命名の謂れを尋ねるが昭和三十二年三部卒の私たち。よって「源流山彦会」と称する。会員は十六人。一人が物故、公認会計士一人、税理士三人、他もほとんどが会社の経理業務に携わっており結束堅固。（石崎正雄記）

湯の山に慰師と祭る源流山彦会

15周年迎え華やかに…

七夕総会のスポーツマンクラブ

関西大学スポーツマンクラブ恒例の"七夕総会"は七月十一日、大阪のニューミュンヘン北大使館で開かれた。

十五周年に当たるだけに林勲会長（経法・28短二）の厳選なあいさつも誰やかな彩り。「関大人としての誇りとスポーツマンクラブの名にふさわしい行動を」と、集まった五十余人の各所属クラブの代表者に真剣に訴えた。

今回は改選期。林会長ら全役員が再選された。（橋本記）

大阪国税局人事異動

―指定官職・本学関係分―

（7月10日・カッコ内は前職）

▽北村敏郎（23専二法）査察部次長（門真署長）▽下芝二守（29学二経）情報処理管理官（主任分析専門官）▽大中直規浩（26大経）税務相談官（調査部総括主査）▽石黒宏昭（26学二経）局特別国税調査官（調査部総括主査）▽関勇三（32学二法）局特別国税調査官（調査部総括主査）▽奥野辰三（28短二）天王寺署長（調査部統括調査官）▽中村鉄（26専二経）東住吉署長（審判所審判官）▽戸谷晴治（34学二法）豊能署長（資料調査一課長）▽中上光雄（23専二商）尼崎署長（事務管理課長）▽山本秀一（24大法）相原署長（須磨副署長）▽田村滋（29学二法）住吉副署長（調査部総括主査）▽柳川孝雄（25学一法）門真副署長（豊能総務課長）▽大槻昭米（30学二法）調査官（事務管理課補佐）

80日間アフリカ独り旅

商学部4年次の藤原君

赤道直下のマサイの村で藤原君

ケニア、タンザニアを八十日間独り旅して、いよいよ商社マンとしてアフリカで活躍することに使命感を持った。それには"生きた英語"を身につけること。半年ほど休学して渡米、再び彼の地へ行く―九月十日、帰国した商学部（酒井ゼミ）四年次の藤原伸司君の決心である。

日射は赤道直下だけに、さすがに強く、肌は火脹れもしたが、三十度を超えることはなかった。乾燥しているので木陰は涼しい。ナイロビでは、夜はセーターが必要だった。

ケニアは、タンザニアよりも庶民の生活は豊かだ。英語とスワヒリ語が通じるが、ケニアの方が、より英語が通じた。街にはラジオ、テレビ、カセットなどの日本製品が多く、「日本はすばらしい」と声をかけられ、散髪屋に引っ張りこまれた。マーケットでも「ダイコン、キャベツ」と声をかけられる。日本人は商社員を中心に二百家族百人ぐらい。ナイロビには「蛍雪会」という人が「日本人スワヒリ語学校」を開校していた。生徒は十数人。

私は下町はもちろん、青梅は通じないが、槍を持つマサイ族の村へも。治安！　日本ほどよいところは世界中どこにもないでしょう。その時は、その時と思って!。日本の空手映画というので見にいったが香港製作だった。

商社マンは大邸宅に住み、二夫妻とも自家用車。バスなどには乗らない。もっと現地の人の生活にとけこんだらと思う。大企業の方ほど閉鎖的！

現地の人は、決して他人の悪口をいわない。素朴さに胸がうたれた。別れは拙ないサワヒリで語「アサンテ・サナー（とうも有り難う）。クワヘリー（さようなら）」と何度もいってくれた。

予科学生の消息判る！

八鳥治一教授遺品の7氏

本紙三〇一号（八月十五日付）四面掲載の「出陣学徒の墨跡」―故・八鳥治一教授の遺品のノートの記事につき、校友二氏から連絡があり、三十二人の予科学生のうち七氏の消息がわかった。なお、本紙三〇一号（八月十五日付）四面掲載の「出陣学徒の墨跡」―故・八鳥治一教授の遺品のノートの記事につき、校友二氏から連絡があり、三十二人の予科学生のうち七氏の消息がわかった。なお、前号では、校正ミスから八鳥先生が八鳥先生になっていました。おわびして訂正させていただきます。

「明・浄・直」の山村青聡（25大法・予61神戸市中央区下山手通四の二の三）です。予科一行の出陣でした。戦後、シベリアに抑留されて、二十三年に復員。同窓はすでに卒業、また殺生の学業細の一年生だけ。八鳥先生に、新制学部の事務室についていってもらい新制大学の二年に入った。あの三十二人のうち、小野敏治は水戸市、相馬聡一君が町田市、藤井道夫君は住吉区、門間国治は上里山にいます。

私は今、メモリアル・レリーフの製作をしている。亡き恩師、亡き友の鎮魂を込め、思い出の一字一句を"遺作"を捧げ「して」の大野晋（33大経・予581八王子市横山町七の六の二五）です。和歌山・田辺警備隊で、「復学手続きは早く」との新聞広告を読み、八月下旬、休暇をとって来学した。陸軍の通信隊があり、敬礼をされた。こちらは海軍士官服で、短剣をつっていた。

予科一年での学徒出陣だから、二年に復学手続きをしたこと、動機で工場へいった者は学部生となっている。授業を受けなかったことでは同じだと申し入れ、教授会の結果、学部生になり、卒業も同じ。しかし、校友会名簿には、出陣組は大卒だけの明記で、予科については、なにも記載されていない。一年遅れて、予科二年で出陣、玄海灘で戦死した故・森岸夫君の場合は、校友名簿のどこにも出てこない。事情を汲んでいただける恩師八鳥先生は、あまりにも早く逝かれた。……同じく海軍に入った八尾欣治は横須賀に機雷に殺れた。

総会は11月13日に

東大阪支部役員会

東大阪支部では八月二十一日、役員会を開き、支部総会を十一月十三日の金曜日、なにわ会館で開催することを決定した。

総会までに今一度、役員会を開き親密な"校友の集い"を図ることにしており、魅力のある企画等の提案を待っている。

東大阪支部事務局　宮越　功・25学二商・〒577東大阪市荒川二の四の九。電〇六・721―一三三九。

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
関西店　阪急三番街／ウメダ地下センター／阪急32番街／ナビオ阪急／難波戎橋筋／ミナミ地下センター／南OSプラザ／地下鉄住之江終点／府道茨木警察署北／タカツキ松坂屋／阪急川西能勢口駅前／国道171号線西宮門戸陸橋西／阪急三宮駅西口／神戸ポートアイランドダイエー住宅店
東京店　有楽町／日比谷／渋谷／浦田／池袋／新宿／青梅寺
川崎店　関田屋モアーズ　横浜店　ヨコハマルミネ
浦和店　浦和伊勢丹
千葉店　千葉セントラルプラザ／イトーヨーカドー津田沼店
仙台店　仙台ジャスコシティー　札幌店　丸井今井本店
浜松店　松菱　博多店　西鉄天神コア

商標 登録
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13―28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話 631―6565
641―1666(代)
641―6565
山本雅巳
（昭和53年大法卒）
特別割引券 関大

運転免許は校友がお世話する
〝大阪鶴見の〟
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2―13
〒538 TEL(06)912―7171
担当 太田清太郎(昭29.学2法)
優待証 関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引の特典あり。

特許　排水管専用・各種清掃用品
クリンナップボーイ®
つまった時にはこれが一番！
スムーズな流れで
快適なライフワークを…
家庭用から業務用まで
No.205 パイプハンドル式　一般家庭用品
パイプクリーナー(5m清掃用品)
東京都優良商品選定品
アイデアを製品化し、文化生活に貢献する企業
太陽プレス工業株式会社(清掃用品事業部)
(本社)大阪市東成区深江南1丁目5番8号TEL(06)975-0131(代)

小学校用教育図書出版
テストとドリル
株式会社 文溪堂
東京都練馬区豊玉中3―10
TEL (03) 993―4411(代)
岐阜市長住町9丁目26番地
TEL (0582) 51―1121(代)
大阪市西成区北津守1丁目1―2
TEL (06) 562―4535(代)
羽島市江吉良町2717番地
TEL (0583) 98―1121(代)
社長 水谷清吉(昭21大法)

あと2年…
堺筋本町駅前に、3.5万平方米の巨大な新ビル誕生。
衣料卸の流通地図が変ります。
チャレンジに値する仕事が待っています。
55年度 年商296億。
関大出身者、社長以下19名活躍中。
総合衣料卸・貿易
Fashion 丸光
本部　大阪市東区南久宝寺町2-54
電話 06(262)1501
貿易本部　大阪市東区南本町2―30

校友が構築した〝長き歴史〟

関大も九十五年―多彩な話題はことかかない。校友会・部第一号の東京・部が、近ず設立七十周年記念大会を開く。千里山で生れた〝心の武道〟日本拳法も世界に羽ばたいた。俗曲二十五年、バトン二十年、刀匠十五年といった異色の校友も多い。あとは学風形成中の記述こそが、まされるところであろう。さいわい〝校祖〟児島惟謙の「祝言」の出所、ナゾが近く解明されるかもしれない―

「近世古文書」を守る
故春原源太郎校友の遺族

異色の校友弁護士・春原源太郎氏が亡くなって十三年になる。秋の彼岸を前に、故人とクラスメートだった戸根泰雄・法人監事と、故人が関大事務理事当時、学友会委員長として、校地拡張（旧千里山花壇）問題に尽力した東浦栄一・校友会代議員会副議長（26学一西）の二人が、ご遺族を訪ね、奥さんは病臥中だった。ご長女の比山定枝さんと、お孫さんの芳昭氏が、故人が収集した「近世古文書」＝往時、米・ハーバード大学から百万ドルでの講入依頼があったのを故人がことわったという＝を守っておられた。

ご遺族・比山母子を訪ね、古文書をみる戸根、東浦（左）両氏

故春原源太郎氏

故人が四十年十一月四日、関西大学創立八十周年記念式の会場で配付した小冊子のことが話された。児島惟謙が、明治十七年秋分の日付で書かれた、関西法律学校の設立に当たっての「祝言」が写真印刷されてあった。

「あれは父が、宇和島で、児島家ゆかりの旧家の土蔵から発見して、写真撮影したもの。現物を関西大学へと交渉中に亡くなりました。私たちの手で、ぜひ先方に当たり、必ず、関大に納まるようにしたいと思います」と定枝さん。

〝憂いと艶〟を極める
俗曲25年の中村家元

関西俗曲・民謡界の第一人者・中村三津夫家元（29期・本名秀雄）が、九月六日、大阪終楽のサンケイホールで二十五周年記念の会を開いた。江戸小唄の市丸さんらのゲスト出演もあり、終日、華やかな雰囲気がくりひろげられた。

中村さんは十月八日、関西テレビ夜十二時五分から〝憂寿のミッドナイト・トレイン〟に出演し、対話を交じえながら俗曲、端唄を得意のノドで披露する。

◇……◇

同劇業をやっていた父が、死ぬまで言ってました。「俗曲で、おまんまたべれるか。最後はガードで唄うことになるんや」と。新聞広告（三行）出しても一人もきやせん。どん底でしたなあ！

三十六年に家内をもらってからお弟子さんが増え出して…。福の神でしたわ。すんません、こんなこと言って。さらに四十年、故小唄勝太郎さんにあい、あれこれと注意してもらい、その縁で小梅さんにも二十三回の民謡の会に応援してもらった。

お弟子さんには、いろんな方がおられます。このごろはサラリーマンの人も。あの五月側で、ゆとりが、できたんですなあ。校友のお弟子さんの第一号は、ホテルプラザの吉田三七雄先輩。スジがたいへんよろしまっせ…。

吉田氏は言う。「若くして、民俗芸能音楽の世界に飛び込み、家元を名乗る彼が、〝俗曲と民謡の会〟を毎年開くようになって二十五回目。この分野のブームもさることながら、彼の努力と柔和、温情、そして生真面目過ぎるほどの、彼の人となりがおったことを忘れてはならない。

毎晩疲の吸き込んだカセットテープを枕もとに引き寄せ、〝憂いと艶を極めた彼の美声を、ひとりこっそり愉しんでいる」と。

中村三津夫十八番集のカセットテープの第三集もできた。はかまう。

25周年の感謝にかけつけた市丸さんと中村三津夫さん

鍛刀に惹かれて15年
東吉野の刀匠 河内国平氏訪問

関大奈良倶楽部北葛城支部（山下正隆支部長・28学一法）の一行十九人は、六月二十三日、浦田善之・奈良倶楽部会長（10大法）の案内で、東吉野村の校友刀匠「河内国平」氏の鍛刀道場を訪れた。

若い弟子二人を相手に、鉄を打って鍛えていた。酸をたたいて抜く、伝統的な稲鉄の精製過程である。道場内は、外と遮断されて、真っ暗。裂帛の気合。飛び散る火花で刀匠ら三人の黒褌は穴だらけになっていく…。

河内国平氏、本名は道雄（41学一法）。在学中、山登りをしたとき、深山で黙々と〝炭切り〟をしている「刀鍛冶」の真剣な姿に惹かれて…という。今やこの道も十五年―。会心の作二振り（うち一振りは一昨年の高松簡易保険局優秀賞）を前にして、河内氏は遠慮深げに、ぽつり、ぽつりと刀剣論を。

「材料の砂鉄探りに、磁石をもって福島県にまで出向く。他の地方のものは脆弱なので…。一振りの作製に約三週間を使う。年間、一途に打っても約五十振り。仕上がりが気に入って、世間に出せるものはこのうちの五振りぐらい」

現在、文化庁は修業五年で刀匠の免許を出しており、全国で四百人。しかし本格的に刀を鍛えうる人は、河内氏を含め十人に満たないという。文化功労者・考古学の末永雅雄名誉教授は、刀剣の研究家でもある。河内氏の業績を高く評価されているとか。

気合いこもる河内国平氏（中央）の鍛刀道場

航空部50周年の記念誌
汗と涙の〝青春譜〟が完成

航空部では同部五十周年記念誌を校友総会の当日、ご希望の校友に実費（三千円）で、頒布する。B5判百五十一ページ。戦前、戦後の貴重な写真も百五十数葉。アート紙を使った上製本だ。なかでも昭和五年十二月、学友十二、三人が集い航空部を仮結成した始まり五十六年四月、関西大学会館で五十周年の記念祝賀会にいたる年表は、大空に賭けた関大生の、汗と涙の〝青春譜〟といえよう。

表紙の「翼」の揮毫＝写真＝は今井浸雪先生。学連・天理外大OBで筑波大学教授、日展評議員の書道家。関学、同大、立命、早大、京大、神戸大、大工大などの各大学航空部ゆかりの方々の寄稿も多い。大空に結ばれた友愛だろう。

本文の筆頭には中川崇夫遺氏（9大法）ら四氏の共述による発足期のあれこれ。日本学生航空連盟の松田正良教官（33大法）の「よき後輩に恵まれて」の一文が、戦中の空旨をつないでいる。

松田氏は予科在学中に〝陸軍特別操縦見習士官〟に志願。戦後は学生グライダーを育成してきた人だ。

「昭和二十年八月十五日に終戦になった日、私はマレー半島〝スンゲイパタニ〟の基地で、南十字星を眺めながら、再び飛ぶこともないだろうと、寂しい気持ちにかられていた。

昭和二十七年に航空部再開されたとき、若い人たちのその力強さに驚きの目をみはったものだ」

女性の入部は戦後の航空部を彩るもの。二回生の夏、スタンガードリベレが入ってきた。輸送木箱のあちこちに墨文字のサインがあり、はるばるドイツからの距離を感じました」と小梶（日産自村）典子さん（52学一法）の原稿。

現役部員の鈴木正人君（三年次）は「航空部はグライダーで飛ぶことと同じく、学ぶことも重要。わが関大に〝航空工学科〟をぜひ」とさらなる夢をかきたてる。

当誌の編集委員長は前杞七郎監督（18大経）。今は亡き山村彰・元監督（16大経）をしのぶ記述、四十八年春の全日本競技大会で不慮の事故死にあった故・松村幹男君の追憶記を掲載するなど、濃密な心配りがうかがえる。

航空部にとって、あの忌まわしい太平洋戦争で戦死、殉職された部員、OBは次の七氏。お名前を記述し鎮魂としたい。

荒川少意（11大法）▽稲本稔英（15大法）▽小川康二（18大経）▽河野喜成（18専一経）▽日下部武（18大学2）▽緒方譲（18大学2・特攻桜花）

これが日本拳法だ
50周年記念世界選手権

日本拳法発祥五十周年記念世界選手権大会は九月六日、大阪市中央体育館で開催された。宗家・沢山宗海師の遺影を持つ未亡人と、日本拳法会の矢野文雄会長（9大法）が、終始並んで、大会を見守る姿が印象的だった。

選手権試合は日本（大学生二十四、大学OB八、社会人十七）、韓国（在日・五）、米（五）、英（五）の六十四人が参加、三十五歳の中島秀憲六段（洪流会）が世界チャンピオンに。外人拳士では、四十歳のジョン・ウルティア三段（米）が敢闘賞に輝いた。

この日のハイライトを写真で。

①日本拳法会旗を中心に参加四カ国旗をかかげ、華やかなアトラクション②少年・少女のかわいい気合③女性拳士のエキビジョン④裂帛の突き胴で王座が決まる⑤

米・英の外人拳士
発祥の関大を表敬訪問

九月三日、米、英各五人、計十人の〝外人拳士〟が関大千里山学舎を表敬訪問した。

〝日本拳法〟の宗家、故・沢山宗海師を育んだ関大で、その極意を会得したいと。現役学生と、空乱（防具をつけずにする練習）を初体験したあと、関大会館で久井忠雄理事長と懇談した。

◇アメリカ・チーム　ジョン・ウルティア（3段・40歳・カリフォルニア州・拳法歴17年）マジミR・フローレス（2段・36歳・ニューメキシコ州・15年）マジョージ・ニーバ（2段・33歳・メキシコシティ・13年）マライオネル・Z・ビラヌエバ（2段・29歳・テキサス州・8年）マルーベン・R・メイシャス（初段・33歳・カリフォルニア州・8年）の五氏。

◇イギリス・チーム　ルザー・D・ゲール（3段・26歳・ロンド大学生）マジョン・R・ギル（初段・29歳・ロンドン）マウェイン・プレボスト（1級・29歳・ロンド・ン電子工学四年）ママレー・P・ガスト（1級・28歳・ロンド・ン・拳法歴3年）マデニス・フランシス（1級・26歳・南アフリカ・2年・設計士）の五氏。

貴賓室で久井理事長に会う米・英拳士

「現役最後の試合と思い頑張った」と、優勝の中島六段。

関六野球に関関戦
17シーズンぶりに復活

関西六大学野球リーグ戦が発足し五十周年になるという。この秋は関西学院大学のリーグ復帰で、伝統の関・関戦も十七シーズンぶりに十月の十日、十一日の両日、大阪の日生球場で行われる。

昭和六年に結成されたときは、関大、関学、同志社、立命、神戸商大、京大の六校。リーグ戦は、戦争の激化で十七年春を終えたところで一時中止、戦後は二十一年春から再出発した。発足いらい三十年半ばまでは「東京六大学」と同じように、メンバー校は不動だった。関西地区に多くの新しい大学ができたのに対応し〝門戸開放〟実力の入れ替え制にかえた。

京大と神戸が巻き、立命も一時転落、現在復帰している。当初から不動は関大と同志社の二校だけ。

優勝回数は関大の三十一回、同志社十八、立命十七が続き、関学は十一回。新制度になって加盟した近大の六回などである。

関大は四十七年の春秋優勝のあと、すなわち関学が四十八年春に脱落してからの間、一度も王座についていない。昨秋、今春は連続二位。伝統の好敵手を得てこそ、燃えるのも青春の血。

これまでの関・関戦は関大の105勝60敗6分け。

大事業残し長逝した岡本寧夫君
畑下辰典

君と初めて心の通う知己となったのは、校友会主催・昭和五十三年五月の第三回訪欧団に、君が参加したことからであり、欧州、抗州、ソウルと同行して語り合う内に、君の人柄に惹かれ、その考え方と実行力の卓抜さを知った。翌年、校友会の常議員に選ばれたのも故なしとしない。わずか三年間余で、十年を超える知己となったのも、君の人間性の良さによるものである。

君は昭和三十六年、文学部哲学科を卒業後、印刷会社を創り社長となるほど事業欲が旺盛で、四十二年、関西中央学院理事、学院長として十年間、医療事務、事務管理、コンピューターのコースを加え、その成果を高め学院を発展拡大された。

昨年三月、君が心血を注いだ財団法人社会教育財団が設立され、奈良・二上山麓に研究センターを設けるための新築が、君を病床に追い込んだ。七月十九日、君を再度見舞ったときの元気さは、二時間半の語りとなり、これが君との最後となろうとは夢のようであったが、盛大信徒校友会長が出席を予定している。

当支部では、在京校友のこぞっての参加を呼びかけている。会費は一万円。当日受付で。連絡・問い合わせは〒103東京都中央区日本橋小舟町一五番一四号、九由工材㈱内　澤田勇夫支部長宛て。電話〇三―662―二三六一。

バトンにかけた20年

在学中からバトンにかけてきましたこの二十年、今年の夏は、私にとりまして、〝最良の日々〟でありました。

八月二十一、二十二日の両日、フランスのニースで開催された第二回バトントワーリング世界選手権大会に「梶本りん子マーチングスタジオ」から、ソロの部に五人（日本代表は八人）、そしてチーム（各国一チーム）の代表としても出場したことです。チームは大石国・翠子（二）、斉藤麻紀（二）、下村倫代（二）、三島真子（二）、脇細純（二）、桑山剛子（二）の若い六人の娘さんたちです。

選手たちにとっては、学業との両立、食物の制限、そしてあらゆる娯楽に目を閉ざしての、血の出るような日々であったでしょう。その努力が花開いたと思います。

しかし、つたない私のスタジオで、今回の偉業が成し遂げられたのも、ひとえに、校友の皆さまの温かいご声援があったればこそと深く感謝いたしております。（梶本＝神保＝りん子・39学一国）

設立70周年を迎え記念大会
東京支部が10月23日

校友会・東京支部（澤田勇夫支部長・11専二商）では、十月二十三日の金曜日午後六時から、ホテル・ニューオータニで設立七十周年記念大会を開く。

当支部の設立は明治四十四年二月十七日という。明治に生まれた校友会支部は、ここだけ。ちなみに二番目にできた大阪倶楽部は大正二年の創設である。

初代支部長は加太邦憲氏。本学が関西法律学校から、明治三十七年、関西大学に改正されたときの初代学長（五代校長から）。副支部長は、本学に初の文庫（図書館の前身）を設置した二代目学長の河村善益氏。幹事は内田里成氏。関西法律学校第一回卒業生で、昭和四十三年から十八年間にわたり、知事されていた理事長、学長、常務理事の出席は不可能になり、八月五日、わずか四十五歳の若さで、大事業を残し長逝されたことは惜しみても余りあり、深く頭を低（た）れて心からご冥福をお祈りし、君を想びつつ、お別れの言葉といたします。合掌。

（校友会組織部長・公認会計士）

メイルボックス
青春梁山泊は三輪山の里で

本紙新年号（二九四号）掲載の23年大予・28年新制大卒・業生の〝家庭渡り鳥〟グループの今夏の集いは、八月七日、奈良県・三輪山のふもと、杉本文雄氏（D組・法学部・南都銀行天理支店長）宅で。

豪華集いのため東京の滝口昌孝氏と、岐阜の水谷雄二氏はゴルフコンペなどの途中参加だけ。東京からの川越隆、寺西三郎の両氏に経済学部の木村雄二郎教授が集う。

杉本夫人の心のもったてなしに、メートルがあがってか、当初は杉本氏の子息（大学工学部在学）の大学院進学を論していたが、やがて、懐かしい千里山を見にいきたいなあ♪。オレたちが威張っていけるためにも、木村、立派な学者になっておけ…と。

轟粗忌で詩の朗読

直弟子の明珍氏が

で公ぶが一匹轟粗海峡を渡って行った（俗）―の詩で有名な、安西冬衛氏しるのぶ第十六回の轟粗（たったん）忌は、八月二十二日堺市立図書館で開かれた。

記念講演会のあと、冬衛の直弟子で帝塚山学院短大助教授の明珍弥教授の父）九月十日、八十三歳の天寿を全うされた。

高堂勝太郎氏（商学部・高堂俊一郎電子工学四年）ママレー・P・ガスト（1級・28歳・ロンド・ン・拳法歴3年）マデニス・フランシス（1級・26歳・南アフリカ・2年・設計士）の五氏。

森本　為義氏（大学施設課・森本　甫技師の父）八月十九日、八十四歳の天寿を全うされた。

一遺族は〒611宇治市蓮道丸山一の五七。

福本喜之助・名誉教授

八月十六日、脳血栓で死去、七十八歳。

独学で大学卒業資格を得、昭和二十四年から本学教授。独文学科創設以来の語学領域の責任者であった。四十九年に停年。

一遺族は〒192八東京都八王子市下恩方町二〇九五の八に、慶子夫人。

畑川　嘉夫氏（推・元大阪弁護士会長）八月九日、八十八歳の天寿を全うされた。

概本信雄弁護士（校友会長）が葬儀委員長となり、八月二十九日日本キリスト教団天満教会で告別式が行われた。

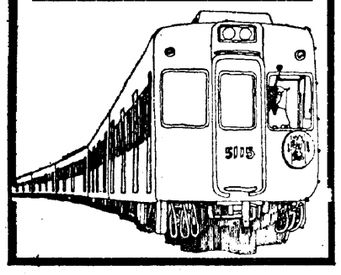
一遺族は〒573枚方市都丘町二〇の五に、長男の等（ひとし）氏。

清水　誓男氏（11専二法・元法人評議員・西大和開発㈱社長）八月十五日心不全で、六十六歳。

一遺族は〒565吹田市青山台三の四〇の七にフサエ夫人。

尾崎あい子さん（関大一高・尾崎良美教諭の母）八月十八日、心不全で死去、六十八歳。

大阪・神戸・京都・宝塚を最も便利に結ぶ
阪急電車

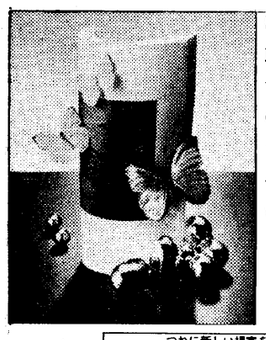


歴史の香り漂う仏都
高野山

◆交　通
大阪・なんば―高野山
特急「新こうや号」約1時間40分
急行　30分ごと運転　約2時間
お問合せ　南海国際旅行　なんば(641)8686
南海電鉄

喫茶　ヘカ
地下鉄東梅田・日興証券ビル81　電313-6774

企画から印刷まで
躍進する印刷の東洋紙業



印刷の果たす役割のますます重要となる今日、東洋紙業はつねに新時代の知識・技術の開発と導入につとめ、みなさまのご要望におこたえすべく、日夜研鑽にはげんでいます。

つねに新しい提案を―〝考える印刷〟を使命とします
東洋紙業株式会社
本　社：大阪市浪速区芦原1―3　☎(06)568-0011(大代表)〒556
東京支社：東京都品川区南品川6―1　☎(03)474-3251(代表)〒140
工　場：関西／芦原、平野、美原、東大阪　関東／品川、横浜、王子
営業所：札幌、広島、九州
営業品目：商業印刷、出版印刷、ビジネスフォーム印刷、各種紙器

各種鋳鋼品
橋梁高架用沓並に伸縮継手
日本鋳鋼会々員　日本海事協会認定工場
ノルウェー船級協会認定工場　ビューローベリタス船級協会認定工場
米国船級協会認定工場　ロイド船級認定工場
KSK
吳羽製鋼株式会社
代表取締役　森　正治
大阪市西淀川区竹島町五の四の四一
電話　大阪（471）四三三一～四番

中尾フィルター工業株式会社
取締役社長　中尾善宣
大阪市北区芝田一ノ四ノ八（北阪急ビル七階）
電話　大阪（〇六）三七二―二〇四三番（代表）
西宮市北昭和町一四―二一
電話　西宮六五―三五〇三番

私たちの仕事に〝卒業〟はありません。
快適環境の創造
昭三専法卒　戸澤武
三和シャッター工業株式会社
本社　〒160 東京都新宿区西新宿2-1-1（新宿三井ビル44階）
☎03(346)3011(代表)